OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	デザイン理論 52号　ご挨拶 / 選挙管理委員会報告
Author(s)	藤田, 治彦
Citation	デザイン理論. 2008, 52, p. 1-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53551
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

創設50周年を迎える意匠学会　── 会長就任挨拶に代えて ──

藤　田　治　彦

今回の選挙で意匠学会の会長に再選されました。学会誌『デザイン理論』の巻頭を借りて一言ご挨拶申し上げます。本学会は2009年に創設50周年を迎えます。1959年に関西意匠学会として創設された本学会は，成長発展に伴い1978年に現会名に改称，現在，日本のおもな関係学会で構成される藝術学関連学会連合にあって長い歴史を有する学会のひとつであり，世界のデザイン関連学協会のなかでも独自の活動を継続的に展開している学術団体です。

「意匠」は，英語の「デザイン design」よりも古くから使われている言葉です。また，それに対応するイタリア語の「ディセーニョ disegno」やフランス語の「デッサン dessin」にも劣らぬ長い歴史を有する言葉で，中国では８世紀盛唐の詩人杜甫の用例が知られます。日本では平安中期寛弘２年（1005年）大江匡衡が藤原道長のために書いた願文の例などがあり，日本の「意匠」は千年の歴史を有しています。学会誌名『デザイン理論』や英語の学会名 The Japan Society of Design にも示されているように，本会では「design」との相違よりも共通性や関係性を重視していますが，これまでの用例を繙くならば，いまの言葉でのデザインや工芸をはじめとする造形芸術から文芸にまでわたり，ものごとの創作全般にかかわる，より広い概念が「意匠」だといえます。学会の枠組みや文化の違いを超えて大切にしたい，私たち自身のなかで育まれた意味豊かな言葉です。

例えば「美術」は明治時代に西洋語にあわせてつくられた造語であり，「art」との溝がなかなか埋まらないといわれます。「意匠」も実際のところ中国からの外来語であるわけですが，平安時代以来すでに千年以上使われており，いわば余裕をもって「意匠」から「design」を見ることができます。「意匠」は，「美術」や「芸術」という言葉が使われていなかった時代からあり，いまでも使われている言葉だということの意味，私たちの文化における意味と世界文化史上の意味をともに考えてみる意義は大いにあるでしょう。

「意匠」は「ishō」として，欧米でも知られつつあります。筆者が研究代表者を務め，本会会員も参加されている「比較デザイン論研究」は，科研基盤研究(B)として，ボローニャ大学，大阪大学，国立台北藝術大学，セインズベリー日本藝術研究所等で国際研究会を連続開催中で，そこでは「意匠 ishō」が，イタリア語の「ディセーニョ disegno」等とともに，重要な関連語として，比較研究されています。いわば主知主義的な「ディセーニョ」等の西洋語と比べるならば，「意」「匠」は精神と身体の均衡と調和を旨とするデザインを語る言葉です。とはいえ，意匠学会は日本や東洋のデザインに特化した，歴史的事象のみを研究対象とした学会ではあり

ません。世界的視野からの現代デザイン研究その他，さまざまな関連研究が一層盛んに発表されるようになることを期待します。

国際的あるいはグローバルなデザインの研究と地域や時代に固有のデザインの研究との均衡以上に，「意匠」という本学会の会名は，デザイン理論とデザイン実践との均衡の重要性を示唆しています。おもな会員諸氏と協力して，研究会，学会誌，ウェブサイト等の活動やメディアを，それぞれの特性に応じて適切に運営し，この分野の調査研究や教育実践等を支援していきますので，とくに若手会員の各種活動への積極的な参加を期待しています。今回の改選を通じて何名もの中堅会員が委員や幹事に選ばれ，学会誌編集や学会賞選考に携わる専門委員には若手会員も加わりました。来年は創設50周年を迎える学会であるだけに，適切な若返りが不可欠です。意匠学会のこれまでの活動に関心をもち，これからの展開に期待するみなさまの積極的参加を心より歓迎し，会長就任の挨拶とさせていただきます。

選挙管理委員会報告

選挙管理委員長　小宮　容一

１．選挙管理委員の委託

会長の委託を受けて，小宮容一，今井美樹，中野仁人の３名が選挙管理委員となった。

２．第１回選挙管理委員会

日時・場所：2006年12月７日（土）大阪大学

出席者：小宮容一，今井美樹

事務局：要真理子，猪谷　聡

議題１：選挙管理委員長の選出。中野仁人欠席も，事前のメール会議を含め互選の結果，小宮容一を選挙管理委員長に選出した。

議題２：「会則」，「役員選挙規定」及び「委員選挙施工細則」の確認。

議題３：被選出資格を有する会員の条件について。

「2007年11月末日現在正会員。ただし同日より遡って１年に満たない入会者は除く。法人会員は代表者１名。」の条件において，現在事務業務委託先の大学生協学会支援センター㈱に会員情報を依頼することとした。

（後日，被選出資格者320名，被選挙人318名を確定）

議題４：選挙スケジュールについて。

12月中に被選挙人名簿の確定および文書フォーマットの確認。

2008年２月16日以前に，大学生協学会支援センターより小封筒を入手。

２月16日（土）第２回選挙管理委員会開催（大阪工業大学／発送作業），

３月15日（土）第３回選挙管理委員会開催（大阪大学／開票，委員受託依頼）

などを決定。

３．第２回選挙管理委員会

日時・場所：2008年２月16日（土）10：00 ～ 12：00・大阪工業大学

出席者：小宮容一，今井美樹，中野仁人

事務局：要真理子，猪谷　聡

議題：作業／選挙関連書類準備・封入・発送等（発送数　320通）。

４．第３回選挙管理委員会

日時・場所：2008年３月15日（土）13：00 ～ 16：00・大阪大学

出席者：小宮容一，今井美樹，中野仁人

事務局：猪谷　聡

議　事：開票

投票総数：84，有効等票数：81，無効票：１，白票：２

得票順位（８票以上，以下省略）

１．藤田治彦　44

２．藪　　亨　37

３．渡邊　眞　31

４．羽生　清　17

５．太田喬夫　16

６．梅宮弘光　15

並木誠士　15

８．佐藤敬二　12

９．鈴木佳子　９

10．横川公子　８

（横川氏と小宮氏同票。委員選挙施行細則第４条「投票数の同じ場合は年長順に従うものとする。」により横川氏が選出された。）

小宮容一　８

５．意匠学会委員選挙結果

選挙管理委員長及び委員長代理事務局猪谷聡氏が委員就任の意志確認を行った結果，以下のとおり委員が確定した。

10人委員会名簿（50音順）

梅宮弘光

太田喬夫

佐藤敬二

鈴木佳子

並木誠士

羽生　清

藤田治彦

藪　　亨

横川公子

渡邊　眞

6．結果報告

2008年３月23日（日）大阪大学で開催した，第１回意匠学会10人委員会において選挙結果を文書にて報告し了承された。

この報告をもって選挙管理委員会は職務を終えた。